

寢床〔扉の言葉〕

種田山頭火

青空文庫

ここへ移つて来てから、ほんとうにのびやかな時間が流れてゆく。自分の寢床——それはどんなに見すばらしいものであつても——を持つているということが、こんなにも身心を落ちつかせるものかと自分ながら驚ろいているのである。

仏教では樹下石上といい一所不住ともいう。ルンペンが『寝たところ我が家』という。しかし、そこまで徹するには悟脱するか、または捨鉢にならなければならぬ。とうてい私たちがするような平々凡々の徒の堪え得るところでない。

家を持たない秋が深うなつた

霜夜の寢床が見つかからない

そうろうとして歩きつづけていた私は、私相応の諦観は持つていたけれど、時としてこういう嘆息を洩らさずにはいられなかつた。

人生の幸福とはよい食慾とよい睡眠とに外ならないと教えられたが、まったくそうである。ここでは食慾の問題には触れないでおく。私たちは眠らなければならない。いや眠らずにはいられない。しかも眠り得ない人々のいかに多いことよ。

眠るためには寢床が与えられなければならない。よく眠るためにはよい寢床が与えられなければならない。彼等に寢床を与えよ。

×

重荷おもくて唄うたふ 山頭火

味取観音堂に於て

松はみな枝垂れて南無観世音 耕畝

久しぶりに掃く垣根の花が咲いてゐる 同

ねむりふかい村を見おろし尿する 同

(「三八九」第壺集 昭和六年二月二日発行)

青空文庫情報

底本：「山頭火随筆集」講談社文芸文庫、講談社

2002（平成14）年7月10日第1刷発行

2007（平成19）年2月5日第9刷発行

初出：「三八九」第壹集」

1931（昭和6）年2月2日発行

入力：門田裕志

校正：仙酔あびす

2008年5月19日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

寢床〔扉の言葉〕

種田山頭火

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>